

日医工MPS行政情報シリーズ

<http://www.nichiiko.co.jp/stu-ge/index.php>

調剤医療費動向分析 - 2010年度診療報酬改定を探る -

資料作成：日医工株式会社 MPSチーム
(認定登録 医業経営コンサルタント登録番号第4217 菊地祐男)



資料No.211109-152



日医工株式会社

<http://www.nichiiko.co.jp>

調剤医療費動向

- 最近の調剤医療費(電算処理分)の動向 平成21年5月 -

電算化率の推移	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年5月
	57.9%	70.2%	80.9%	91.2%	98.7%

処方せん1枚当たり調剤医療費(平成21年5月電算処理分)							
	調剤医療費 (円)	薬剤料(円)		技術料(円)		特定保険医療 材料料(円)	
			構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
全国	7,788	5,776	74.2	1,999	25.7	13	0.2
石川	10,362	8,079	78.0	2,264	21.9	19	0.2
福井	9,953	7,752	77.9	2,154	21.6	47	0.5
福岡	6,592	4,641	70.4	1,942	29.5	9	0.1
佐賀	6,451	4,493	69.7	1,953	30.3	4	0.1

最も高い



調剤医療費

最も低い

処方せん1枚当たりの調剤医療費の高い都道府県は、比較的分業率の低い地域であり、薬剤費(料)比率も高い傾向がある。

調剤医療費動向（内服薬の3要素分解）

- 最近の調剤医療費（電算処理分）の動向 平成21年5月 -

薬剤料の85%を占める内服薬の3要素分解				
内服薬	処方せん1枚当たり薬剤料(円)	処方せん1枚当たり薬剤種類数	投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)
全国	4,887	2.84	19.3	89
石川	7,043	3.25	23.1	94
福井	6,618	3.15	22.8	92
福岡	3,887	2.89	15.8	85
佐賀	3,827	2.86	15.5	87



処方せん1枚当たりの内服薬薬剤料の高い都道府県は、薬剤種類数や単位当たりの薬剤料も高い傾向があるが、投与日数の長さが大きな要因と考えられる。

調剤医療費動向（後発医薬品割合）

- 最近の調剤医療費（電算処理分）の動向 平成21年5月 -

平成21年5月	薬剤料ベース (%)	(参考)数量ベース (%)	(参考)後発医薬品調剤率 (%)
全国	6.5	18.2	42.9
最も高い ↑ 沖縄	10.4	30.1	57.4
岩手	9.1	21.3	48.7
滋賀	5.1	15.6	40.1
最も低い ↓ 徳島	4.6	14.3	37.3

後発医薬品調剤体制加算(4点)

施設基準届け出薬局数(平成20年7月1日時点) 34,941

[2009年3月25日中医協総会資料「主な施設基準の届出状況等」]

薬局数5万軒なら約7割

数量ベースは、薬価基準の規格単位ごとに数えた数量(政府目標と同じ算定方式)であり、その目標の30%を超えているのは沖縄県だけで、2位以下の多くは20%に届いていない(調剤薬剤費分)。後発医薬品調剤体制加算の算定要件も変更される可能性が高い。

都道府県別 調剤薬剤料（GE比）解説

厚生労働省から「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」として、都道府県別の処方せん1枚当たり調剤薬剤料とジェネリック比率のデータが公表されている。

医薬品市場を金額ベースで都道府県毎に分析するため、データ元が異なるが日本薬剤師会が公表している都道府県毎の処方せん枚数から、概算で都道府県毎の調剤薬剤料を求めた。またGE（ジェネリック）比率により、調剤GE薬剤料を算出した。

異なるデータからの概算であり、また調査月も5月と2月で異なるが、日曜祝日を除いた単月の実日数は23日で同じであり、傾向は把握できると思われる。

都道府県別 調剤薬剤料 (GE比)

参考

参考 単月	データ元	
	平成21年5月	
	処方せん1枚当たり(円)	
	調剤医療費	調剤薬剤料
全国	7,788	5,776
北海道	9,043	6,901
青森	7,601	5,589
岩手	8,505	6,449
宮城	7,615	5,617
秋田	8,988	6,885
山形	7,956	5,906
福島	8,582	6,446
茨城	8,569	6,487
栃木	7,657	5,673
群馬	8,072	6,102
埼玉	7,578	5,609
千葉	7,763	5,792
東京	7,624	5,677
神奈川	7,392	5,469

データ元	(概算)
平成21年2月	
処方せん枚数 (枚)	調剤薬剤料 (百万円)
57,240,841	330,608
2,369,718	16,352
742,577	4,150
634,564	4,092
1,159,914	6,515
630,330	4,340
533,775	3,152
942,832	6,078
1,222,616	7,931
789,665	4,480
651,053	3,972
2,862,016	16,053
2,553,375	14,790
7,131,291	40,481
4,551,248	24,893

データ元	(概算)
平成21年5月	
GE比率(%) (薬剤料ベース)	調剤GE薬剤料 (百万円)
6.5	21,614
8.0	1,303
8.1	336
9.1	371
7.9	513
5.5	238
7.3	231
6.4	388
6.3	496
6.8	304
6.6	263
6.9	1,101
6.8	1,006
5.8	2,330
6.2	1,549

データ元 : 最近の調剤医療費(電算処理分)の動向 平成21年5月(日祝除き、23日)

データ元 : 日本薬剤師会「件数・処方せん枚数・調剤点数の動向」平成21年2月(日祝除き、23日)

都道府県別 調剤薬剤料 (GE比)

参考

単月	データ元	
	平成21年5月	
	処方せん1枚当たり(円)	
	調剤医療費	調剤薬剤料
新潟	8,045	5,979
富山	8,745	6,596
石川	10,362	8,079
福井	9,953	7,752
山梨	8,653	6,571
長野	8,997	6,809
岐阜	7,939	5,851
静岡	7,788	5,785
愛知	7,515	5,532
三重	7,736	5,705
滋賀	8,189	6,191
京都	9,619	7,434
大阪	8,189	6,137
兵庫	7,499	5,500
奈良	7,752	5,657
和歌山	8,155	6,145

データ元	(概算)
平成21年2月	
処方せん枚数 (枚)	調剤薬剤料 (百万円)
1,165,811	6,971
323,426	2,133
345,849	2,794
168,921	1,310
391,548	2,573
802,695	5,465
886,315	5,186
1,783,798	10,319
2,836,799	15,693
731,294	4,172
507,962	3,145
758,935	5,642
3,343,816	20,520
2,606,563	14,336
468,911	2,653
323,861	1,990

データ元	(概算)
平成21年5月	
GE比率(%) (薬剤料ベース)	調剤GE薬剤料 (百万円)
7.1	496
7.0	150
5.7	159
5.6	73
5.9	152
6.6	362
6.0	311
6.6	679
6.0	948
6.5	273
5.1	161
6.0	340
6.0	1,223
6.3	896
7.5	200
6.1	121

都道府県別 調剤薬剤料 (GE比)

参考

参考 単月	データ元	
	平成21年5月	
	処方せん1枚当たり(円)	
	調剤医療費	調剤薬剤料
鳥取	8,142	6,008
島根	8,296	6,125
岡山	7,140	5,147
広島	7,154	5,165
山口	7,257	5,244
徳島	8,267	6,183
香川	8,073	5,996
愛媛	8,027	5,996
高知	9,044	6,870
福岡	6,592	4,641
佐賀	6,451	4,493
長崎	7,262	5,280
熊本	7,005	5,062
大分	7,752	5,731
宮崎	7,220	5,222
鹿児島	6,936	4,923
沖縄	7,203	5,276

データ元	(概算)
平成21年2月	
処方せん枚数 (枚)	調剤薬剤料 (百万円)
271,825	1,633
341,237	2,090
801,931	4,128
1,592,604	8,226
798,783	4,189
285,152	1,763
475,227	2,850
526,557	3,157
328,270	2,255
2,795,401	12,974
567,462	2,550
796,874	4,208
878,867	4,449
598,496	3,430
611,363	3,192
852,382	4,197
496,932	2,622

データ元	(概算)
平成21年5月	
GE比率(%) (薬剤料ベース)	調剤GE薬剤料 (百万円)
5.8	94
6.2	129
6.7	277
6.4	523
6.5	273
4.6	81
5.4	152
5.8	183
5.5	123
6.8	880
6.7	171
6.7	283
7.4	327
6.8	233
6.7	212
8.1	338
10.4	272

2010年調剤報酬改定を採る

後発医薬品調剤体制加算（4点）の要件

（現行）調剤率：30%以上

「処方せんの受付回数のうち、後発医薬品を調剤した処方せんの受付回数の割合」

日医工MPSが推測した要件案

- ・備蓄率：（例）後発医薬品150品目以上備蓄
- ・調剤品目率（薬剤延種類数率）：（例）30%以上

$$\frac{\text{後発医薬品を調剤した品目数}}{\text{処方せんに記載されている品目数}}$$
- ・薬剤料率：（例）30%以上

$$\frac{\text{調剤した後発医薬品の薬剤料（薬価）}}{\text{請求した全薬剤料（薬価）}}$$

計算がやさしく、それなりに数量を反映する方法として推測したが・・・。

機部薬剤管理官の発言〔日本薬剤師会学術大会（滋賀県大津市10月11日）〕

『算定要件を「数量ベース」（薬価基準の規格単位でみた後発品調剤割合）に変更することを検討する。
 「金額ベース」（後発品の調剤金額の割合）は、同加算の算定要件としてはふさわしくない』

処方された薬剤を、1錠、1Cap、1包、1枚、1g、1本など、すべてを1単位としてカウントする
 （ジェネリックを処方した単位数 / 全処方単位数）とする方法

現在可能性が高いと考えられる要件案

政府が目標とするジェネリックの数量ベース30%の算出方法（薬価調査に基づく「薬価算定単位」を基準）と同様の方法とするもの

計算は面倒だが、電算化が進んだため可能性は高いか？

2010年調剤報酬改定を探る

基準調剤加算 (10点) ・ (30点) の要件
備蓄品目数の中にジェネリックの備蓄要件が盛り込まれる案

ジェネリック備蓄数125品目(全国平均)、ジェネリック必要備蓄数200品目
(診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成20年度調査)後発医薬品使用状況調査結果より)

療養担当規則の遵守

2009年7月1日 厚労省保険局医療課長通知の徹底

薬歴記載事項の徹底

記載理由の明確化

調剤基本料、調剤料の抜本改定

後発医薬品分割調剤

ジェネリック備蓄要件は日本保険薬協会が強く要望している。基準調剤加算にジェネリック備蓄要件が導入された場合の影響を考慮し、備蓄要件を別の点数で評価する可能性もある。

予測1: 点数だけがアップする(現行5点)

予測2: 後発医薬品分割調剤の要件が変更される(処方元への連絡など)

予測3: 後発医薬品分割調剤が廃止になり、リフィル処方せんの考え方が導入される

「在宅」点数の拡大

麻薬管理の引き上げ = がん末期のケア重視

処方せん様式の再々変更

参考

薬歴記載事項のチェックリスト

相談事項(家族含む) [有・無]

服薬状況 [良・悪]

体調変化 [有・無]

併用薬(サプリメント・一般用医薬品含む) [有・無]

合併症 [有・無]

他科受診 [有・無]

副作用の症状 [有・無]

飲食物による相互作用 [有・無]

服薬指導

ジェネリック希望 [有・無]

前回処方30日より5日遅れて来局された時にコンプライアンス「良」は問題あり。
残薬5日分あり

[有・無] [良・悪]は次回来局時にどちらかに をする。
また次の診療報酬改定で「理由の明記」が義務付けられる可能性がある。

POSを取り入れたSOAPで記載
(申し送り等 次回来局時に確認)

参考

行政監査のチェックリスト

薬務課

薬剤師	就業規則 勤務表
業務管理	管理記録簿 医療安全管理 調剤録 医薬品安全使用のための手順書 医薬品の販売帳簿
毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬	譲り受け、譲り渡し 破棄

保険課

薬歴管理	
表書き	患者(氏名、生年月日、性別、被保険者の内容等) 副作用歴(重要な事項) 処方医 調剤日、処方内容に関する照会の要点等 患者の体質 アレルギー歴
裏書き	相談事項、服薬状況、体調変化、併用薬、合併症、他科受診、副作用、長期間投薬等 (例)イコサペント食後 本来は食直後の用法。(処方医への疑義照会をした旨を記載) 飲食物(薬剤相互作用) 服薬指導の要点 保険薬剤師名
掲示関連	調剤報酬一覧 夜間・休日等加算の対象日時 後発医薬品調剤体制加算 基準調剤加算